

渡島・檜山支庁の気象

平成21年3月（2009年）

函館海洋気象台

平成21年4月27日

◎ 気象概況

この期間、高気圧に覆われ晴れる日もあったが低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨が降り、下旬は寒気が南下し気温は平年より低く経過した。

月平均気温は一部を除いて平年より高く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は一部を除いて平年より少ない～平年並だった。

【上旬】

1日は高気圧の縁辺で、概ね晴で檜山北部では一時雪が降った。2日は高気圧の縁辺で、太平洋側では晴一時雪で日本海側では概ね曇で一時雪が降った。3日は気圧の谷の接近により、曇で一時雪が降った。4日は高気圧に覆われ、概ね晴れた。5日は高気圧に覆われ、晴れた。6日は発達中の低気圧の接近により、曇で昼前から雨が降った。7日は低気圧が発達しながら通過したため、曇で一時雪が降った。8日は高気圧に覆われ、晴れた。9日は高気圧の縁辺で、概ね晴で渡島北部では曇で一時雨や雪が降った。10日は気圧の谷の中で、曇時々晴で一時雨や雪が降った。

【中旬】

11日は冬型の気圧配置となり、雪一時晴で所々ふぶいた。12日は冬型の気圧配置となり、概ね曇で渡島東部では晴れた。13日は低気圧の接近により、概ね曇で夜一時雨や雪が降った。14日は低気圧が発達しながら通過したため、雨や雪が降った。15日は冬型の気圧配置となり、概ね曇で一時雪が降った。16日は気圧の谷の接近により、概ね曇で時々雨や雪が降った。17日は高気圧の縁辺で、概ね晴れた。18日は低気圧の接近により、曇った。19日は低気圧の通過により、曇で夜雨や雪が降った。北斗では、3月における日最低気温の高い方からの極値を更新した。20日は高気圧の縁辺で、概ね晴れた。

【下旬】

21日は高気圧に覆われ、晴れた。22日は低気圧の接近により、曇で昼過ぎから雨が降った。23日は低気圧の通過により、曇で一時雨や雪が降った。24日は気圧の谷の通過により、概ね曇で一時雪が降った。25日は気圧の谷の中で、概ね曇で夕方から雪が降った。26日は低気圧の通過により、概ね曇で時々雨や雪が降った。27日は気圧の谷の中で、概ね曇一時雪で太平洋側では晴れた。28日は高気圧の縁辺で、晴一時雪で日本海側では概ね曇で一時雪が降った。29日は高気圧の縁辺で、晴れた。30～31日は気圧の谷の中で、概ね曇で一時雨や雪が降った。

気 温：各地点の月平均気温は $-0.1\sim 2.9^{\circ}\text{C}$ で、平年差は $+0.1\sim +1.0^{\circ}\text{C}$ 。

八雲町熊石では平年並で、そのほかの観測点では平年より高かった。

降 水 量：各地点の月降水量は $53.0\sim 201.5\text{ mm}$ で、平年比は $88\sim 139\%$ 。

長万部・木古内・せたな町瀬棚・今金・上ノ国町石崎では平年並で、そのほかの観測点では平年より多かった。

日照時間：各地点の月間日照時間は $109.0\sim 144.0$ 時間で、平年比は $84\sim 111\%$ 。

函館市川汲・函館市美原・江差では平年より少なく、八雲町熊石では平年より多く、その他の観測点では平年並だった。

注: 数値に、]や)が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ **気象官署（函館）の統計値、特別地域気象観測所（江差）の統計値**

	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪量 (cm)	最深積雪 (cm)
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)	月合計	
函 館	1.9	+1.0	86.0	137	140.0	84	50	14
江 差	2.6	+0.4	81.0	133	114.5	86	16	4

(平年比・差は1971年から2000年までのデータで算出した平年値を用いて求めています。)

◎ **気象官署、特別地域気象観測所の極値更新表**

函館および江差における3月の極値の更新はありません。

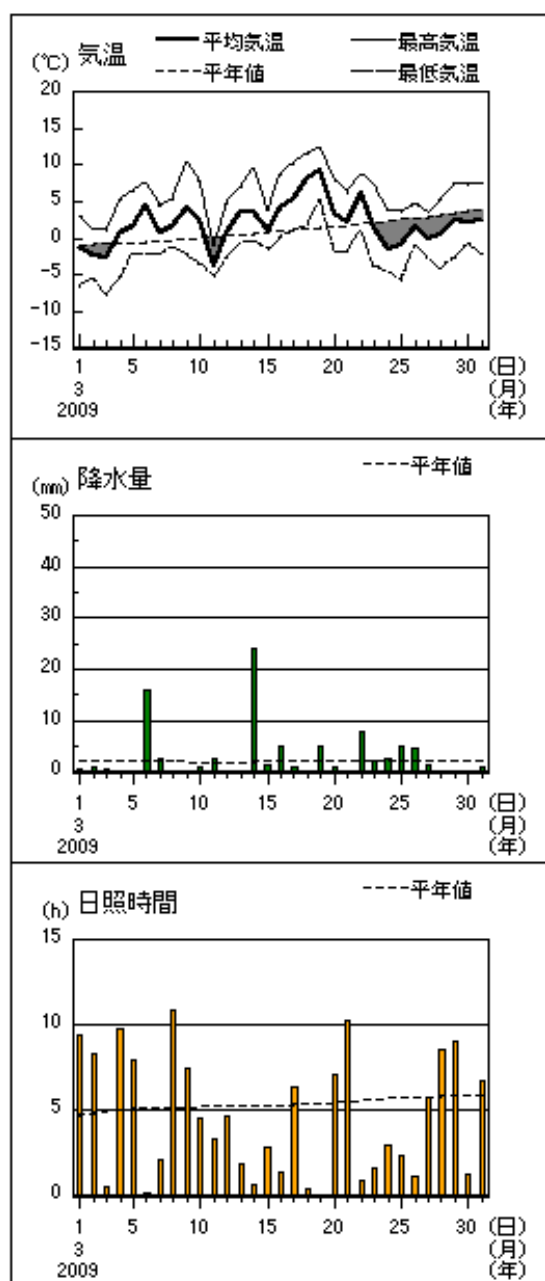
◎ **異常気象および気象災害発生状況**

特記事項なし。

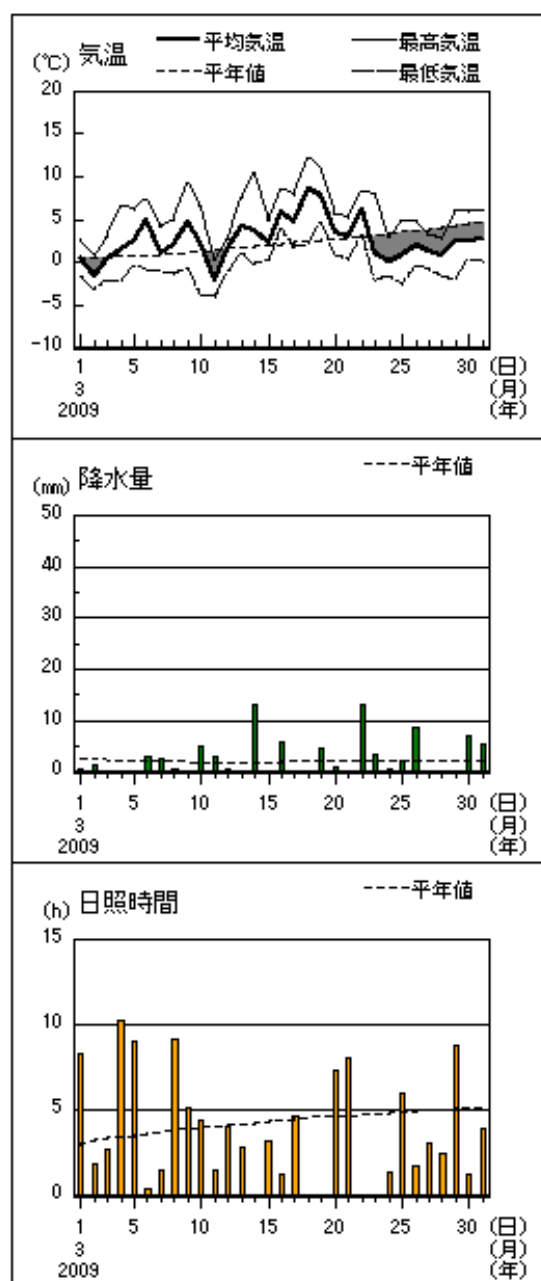
◎ 氣象經過圖 (3月)

地上氣象：2009年3月1日-2009年3月31日

函館



江差



◎ 気象分布図（3月）

注) 以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合があります。

